

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

報告 海面清掃船「みずき」人事院総裁賞受賞

この度、当事務所所属の「みずき」をはじめとする、四国地方整備局海洋環境整備事業実施グループが、第22回人事院総裁賞(職域部門)を受賞しました。

同賞は、公務の信頼を高めることに寄与したと認められるものを顕彰するために昭和63年に創設された制度です。国民生活向上への顕著な功績等を称えるものです。瀬戸内海において長年の浮遊ゴミ・油の回収作業により、船舶航行の安全確保や海洋環境の保全に対する不断努力が認められました。

「みずき」は小松島を基地とし、乗組員6名で日々海面に浮かぶゴミや流木の回収作業を行っています。特に、今年8月には、台風9号の影響で大量の草、流木、不法投棄と思われる粗大ゴミが海上へ流出しました。地元漁協など各方面からの回収要請に応えるため、お盆休みを返上して約1週間で400mを超える浮遊ゴミを回収しました(10トンダンプトラックで約60台分)。また、9月末から10月にかけての徳島県沿岸部の流木騒動(台湾から大量の流木が海流によって日本沿岸域に漂流)においても、徳島海上保安部や県の水産課や危機管理及び防災部局と協力して休日返上で回収作業を行いました。

海洋を漂うゴミや流木は、環境汚染だけでなく、沿岸漁業への被害や船舶との衝突、スクリューへの巻き込みなど、大きな海難事故にも繋がりがねません。

今回の人事院総裁賞受賞を誇りに、乗組員一同、より一層公務に励み、船舶の安全性の確保や海洋環境の保全に取り組んでいく所存です。



人事院総裁賞授賞式



海面清掃船「みずき」乗組員



海面清掃船「みずき」



クレーンで回収した流木



ゴミコンテナ内の作業

INDEX ▶

- みなと通信/海面清掃船「みずき」人事院総裁賞受賞 1
- みなとインフォメーション/国際海上コンテナターミナル整備事業、徳島-釜山間コンテナ定期航路 2
- なるほどみなと講座/GPS波浪計 3
- みなと通信/報告「出前講座(論田小学校)」 4
報告「こまつしま・うまいもん祭り」

国際海上コンテナターミナル整備事業 【徳島小松島港 赤石地区】

現在、マリンピア沖洲に整備されている徳島コンテナターミナルを、中国航路の誘致や韓国航路の増便に向けて、小松島市の赤石地区に移転する計画が進められています。船型の大型化や荷役の効率化に対応するものです。

コンテナ貨物取扱量の増大に合わせ、ターミナルの移転により、物流コストを下げ、貿易をさらに活発にして、地域経済の活性化を図ります。必要な基盤整備、それを支える民間活力の活用を含めてタイミング良く効率的に進めるため、今年度からターミナル施設の配置計画や倉庫等の設計に着手しており、平成23年春の完成、ターミナルオープンを目指しています。

その特徴として、①コンテナクレーンの機能強化とコンテナヤードを拡大(=現在の4.8haから6haに拡大)することにより効率的な荷役が可能、②岸壁水深が7.5mから10mに増深することにより、対象船舶は最大15000トン級コンテナ船まで寄港可能、などがあげられます。具体的には、コンテナクレーンや陸上荷役機械、ヤード内の舗装やゲート設備に加え、危険物置場や空コンテナ置場、貨物の仕分けやコンテナへの積み込み・積み替えのための上屋(CFS)や保税区域の指定、安全安心のための保安施設・監視設備等を整備します。

赤石地区のコンテナターミナルを整備することにより、中国をはじめとする東アジアとの貿易を促進し、物流コストの削減を図り、地元企業や住民の期待に応えていくことを目指します。

詳しくは、徳島県 運輸政策総局 港湾空港企画課にお問い合わせください。

(TEL:088-621-2584)

赤石地区 国際海上コンテナターミナル

○整備施設

コンテナヤード 6ha
コンテナクレーン 1基
陸上荷役機械
冷凍コンテナ用電源設備
コンテナフレートステーション(CFS)
など

○目標

東アジア地域とのダイレクト航路の充実
地元産業・貿易の振興、地域経済の活性化



徳島～釜山間 コンテナ定期航路の増便について

海外との貿易には安くて便利な地元徳島からのコンテナ航路を!

徳島コンテナターミナルと韓国釜山を結ぶコンテナ定期便が、今年11月20日から週3便に増便しました。原油価格の高騰等により平成20年7月以降、週1便となっていましたが、今年10月末から週2便に増便し、この度の週3便体制は平成10年11月以来11年ぶりです。

各船社の平成21年12月1日現在の寄港地と運航ルートは以下のとおりです。

高麗海運	釜山(火)▶徳島(木)▶高松(金)▶福山(金)▶今治(土)▶松山(土)▶釜山(日)
興亜海運	釜山(月)▶徳島(火)▶高松(水)▶福山(水)▶水島(木)▶釜山(金)
STXパンオーシャン	釜山(日)▶伊予三島(月)▶徳島(火)▶高知(水)▶釜山(木)▶徳山(金)▶釜山(土)

このほか、徳島コンテナターミナルからは不定期ながら、神戸港へ内航フィーダが週1~2便の頻度で運航しています。

こまぼんのなるほど! みなと講座



～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～

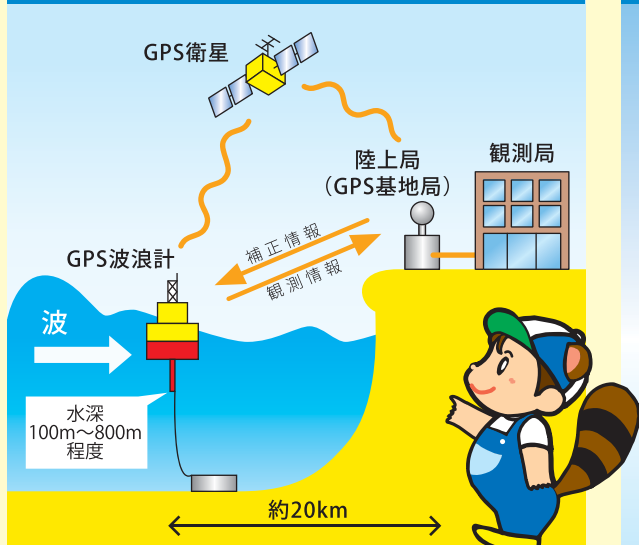
— 第19回 — GPS波浪計

カーナビゲーションなどで使われているGPS（衛星利用測位システム）アンテナを、海上に浮かべたブイに搭載し、ブイの3次元の動きを直接観測して波浪の周期、波向き、波高を解析するシステムです。

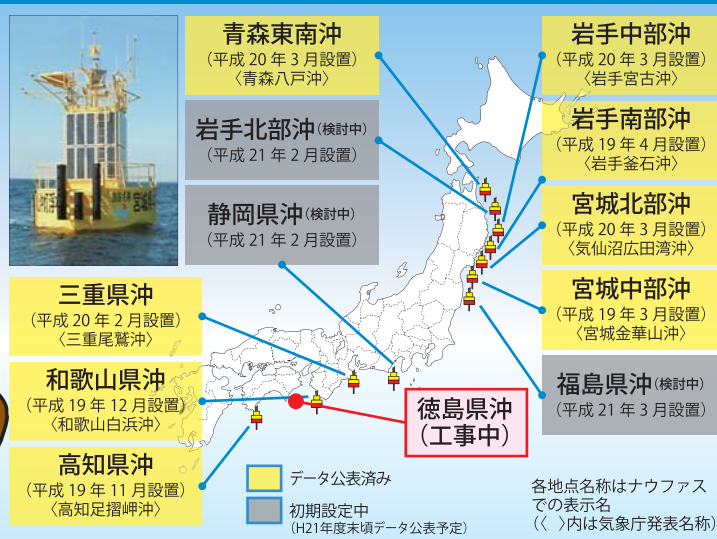
今回は、GPS波浪計の概要について紹介します。

ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳とつぼが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

GPS波浪計システムの概要

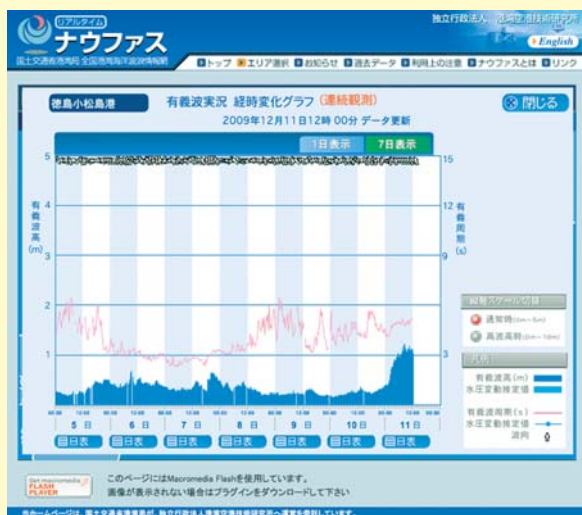


GPS波浪計観測地点一覧及びデータ公表状況



GPS波浪計は、沖合に浮かべたブイの上下変動をリアルタイムで観測し分析することにより、波浪や潮位の海象データを収集します。港湾整備の設計・施工には沖合の波浪データが重要で、現在、計画的に全国でのGPS波浪計のネットワーク整備が進められています。また、沿岸部よりいち早く津波を検知出来るため、東南海・南海地震等の津波に対する迅速な観測と情報伝達が可能となります。

設置場所は電波通信の性能より、陸上局から約20km以内。(大きく超えると誤差が生じます。)水深数百mの位置に設置することで、海底等の地形や水深による波浪変形の影響を受けない精度のよい観測が可能となります。



現在、青森県から高知県足摺岬沖までの太平洋側に設置されているGPS波浪計8基について、観測された海象情報は「ナウファス(全国港湾海洋波浪情報網)」により、WEBサイトを通じてリアルタイムで公開されています。近々、岩手北部、福島県、静岡県沖の3基もナウファスに追加され、公開データは11基になる予定です。また、来年早々には徳島県南部の県境に近い竹ヶ島沖(沖合約20km、水深約430m)にも新たに1基設置します。

徳島県竹ヶ島沖に設置するGPS波浪計も、設置後に暫く観測データの検証を行い、地域の防災・減災対策に貢献できるよう早期の本格運用(データ公開)を目指します。



(ナウファスURL)

<http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>

報告

「出前講座」 論田小学校

11月10日に、論田小学校の3年生60名を対象に、出前講座を行いました。小学校の前を毎日のように通過していく原木を積んだトラックが、どこから来てどこへ行くのか？、生徒が日頃疑問に感じていることに答える形で、港から入ってくる貨物に少し興味を持ってもらえたようです。

港の機能や地場産業に関する約1時間の授業で、港は私達の生活にどのように関わっているのか、また、地元の港で取り扱われている主な貨物(原木、木材チップ、コンテナなど)の流れや特徴について理解してもらったと思います。さらには、車社会が進むなか、子どものうちにゆったりとした船旅のよさも味わってほしいとの願いから、徳島に寄港するフェリーについても紹介しました。

出前講座の希望があれば、気軽にお問合せ下さい。



報告

こまつしま・ うまいもん祭り 開催日 11/29

小松島のブランド品を紹介する“こまつしま・うまいもん祭り”がみなとオアシス交流広場にて行われました。屋外フリーマーケットや、米粉を使った料理教室、地元の漁協による“ちりめんすまし汁”や“鱧の天ぷら”無料配布、ステージではNHKうたのおねえさんによるコンサートやヒーローショーが行われ、家族連れなど多くの人で賑わいました。

当事務所では、ビジター桟橋から港湾業務艇「しまかせ」による“みなと見学会”を午前午後計2便運航し、和田岬から大神子海岸、徳島港区にまで足を伸ばし、港の重要性について、理解を深めて頂きました。ビジター桟橋では同時にNPOによる“ヨット体験クルージング”も実施され、船に乗ったことのない方々も多く、受付には1時間も前から列ができました。



今年も、1年が過ぎようとしています。この1年、関係者の皆様方には、当事務所の事業に対するご理解・ご支援を頂きありがとうございます。

現在、当事務所では港湾や海岸、空港、さらに、海洋環境の整備と、大きく4つの事業を行っています。これらの事業はどれも、地域の方々の活力や安全・安心、豊かな環境と暮らしを支える大切な事業ですが、これらの事業のなかには普段、皆様の目に触れる事のない所で、地道な努力を重ねている事業もあります。その中の1つが「海洋環境整備事業」です。

当事務所では、海面清掃船「みずぎ」により、海に浮遊するゴミや流木等の回収等を通じて、瀬戸内海における船舶航行の安全確保と海洋環境の保全に努めていますが、海に浮遊しているゴミのなかには、不法投棄によると思われるゴミも多々あります。何気なく捨てたゴミが、台風等の大雨により海に流出し、航行船舶の安全や瀬戸内海の環境を脅かしています。

綺麗で豊かな瀬戸内海を後世に残していくため、頑張ってください。引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

小松島港湾・空港整備事務所長 河西 博



出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは…

当事務所 TEL (0885)32-3357 または、

ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>

より、お問い合わせください。